

2021年8月28日

東京大学Cedep × 株式会社ポプラ社共同研究プロジェクトオンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ

第2回 乳幼児の絵本体験を問う: 乳幼児はどのように絵本を体験しているか?

乳児期からの絵本をめぐる共同活動の発達
と読書環境構成
— 共同研究の知見をふまえて —

菅井洋子(川村学園女子大学・CEDEP協力研究者)

乳幼児と絵本

2000年「子ども読書年」子どもの読書環境変化

「ブックスタート」Share books with your baby!

家庭

ブックスタート共同研究

家庭での親子の絵本場面縦断的観察(2001～)

園

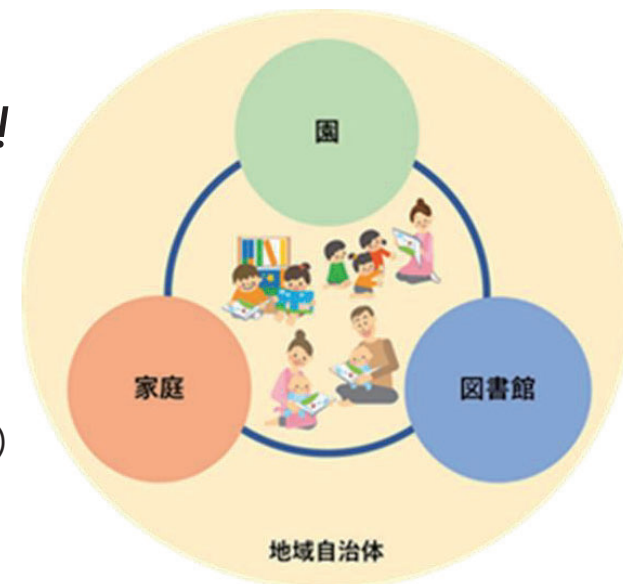
Cedep × ポプラ社共同研究

「全国保育・幼児教育施設の絵本・本環境実態調査」(2019)

図書館

Cedep × ポプラ社共同研究

「子どもの読書環境と公立図書館の役割に関する調査」(2020)



2021年〈現在〉

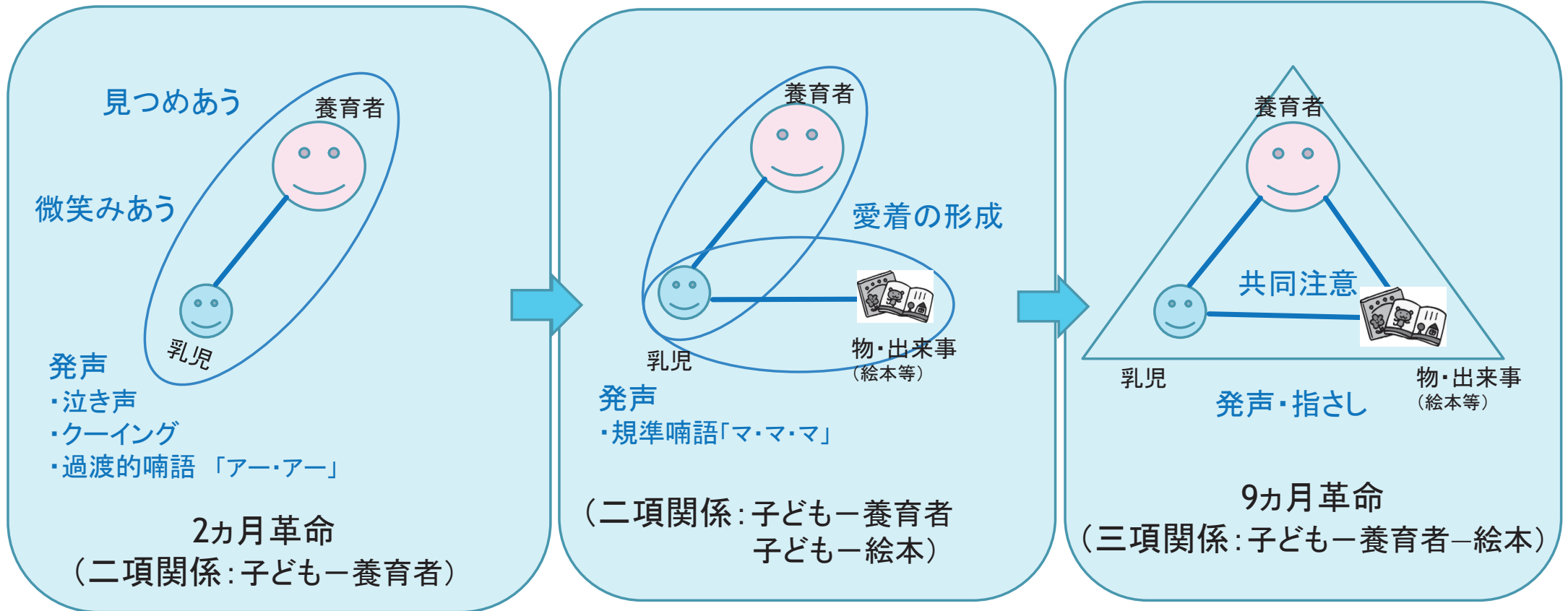
本日の内容 これまでの共同研究の知見をふまえて...

- 1 : 乳児期からの絵本をめぐる共同活動の発達と読書環境構成
- 2 : 公立図書館・図書室における乳幼児と保護者のための読書環境構成

1.乳児期からの絵本をめぐる共同活動の発達 と読書環境構成

乳児(0歳児)の育ちと絵本

〈生後2カ月頃〉 発達過程(二項関係から三項関係へ) → 〈生後9カ月頃〉



ヒトとヒトとの情緒的やりとり

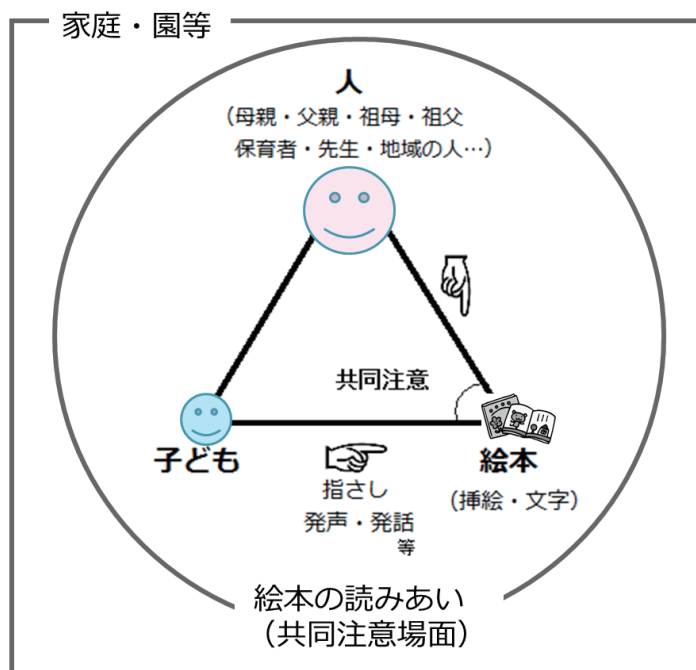
モノを中心としたヒトとヒトの共同活動

乳児期からの絵本をめぐる共同活動

子どもの主体的な行動に
応答する親・保育士等の
関わりの重要性



生後9カ月頃から
〈乳児－親－絵本〉の三項関係成立
絵本を中心とした親子の共同活動展開



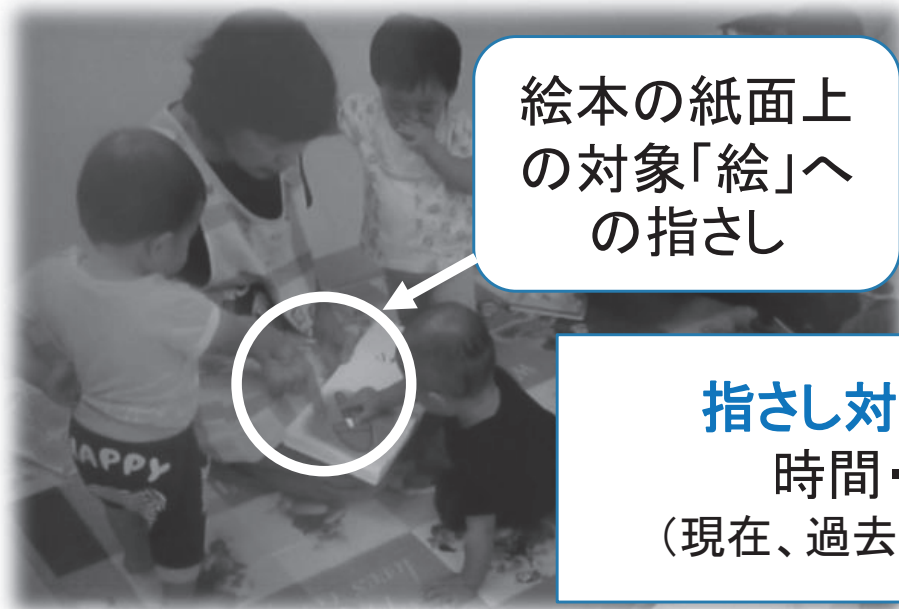
〈乳児－保育士－絵本〉の三項関係成立
絵本を中心とした乳児と保育士の共同活動展開

絵本へ注意を向けあい読みあう共同活動(「**共同注意** (joint attention)」)
絵本を読みあう場(「**共同注意場面**」)

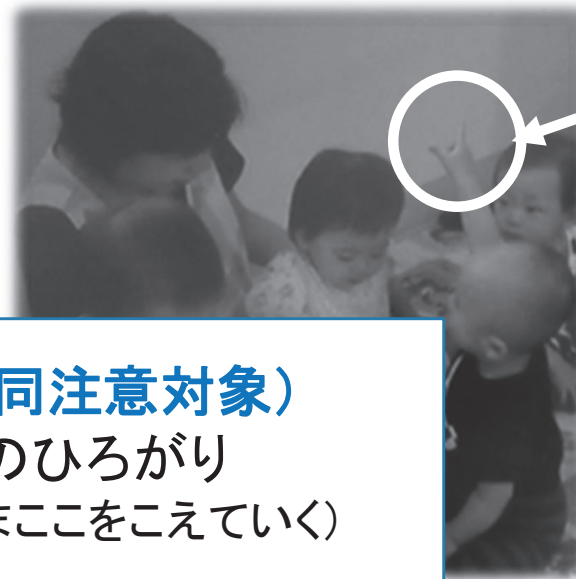


「言語獲得前の乳児はすでに人間に特有のコミュニケーション活動に熱心に参加している。指さしはコミュニケーションの非言語形式から言語形式への重要な移行に関わる」(Tomasello et al.,2008等)

絵本場面:子どもの指さしは1歳半頃頻度高く、2歳半、3歳にかけて発話を伴い減少していく
Pointing<P>⇒Pointing & Vocalization<PV>(菅井・秋田・横山・野澤、2010;菅井、2012)



絵本の紙面上
の対象「絵」へ
の指さし



絵本をこえた
「不在対象」へ
の指さし

指さし対象(共同注意対象)
時間・空間のひろがり
(現在、過去...、いまここをこえていく)

絵本の絵「シャベル」を指さす乳児たちと保育士

絵本の絵「鳥」と
過去にみた現実世界の鳥を指さす乳児

乳児期からの絵本「絵」との出会い：乳児の姿から

乳児は絵本「絵」を「たたく、なめる…」？



いちごの絵を食べている乳児とその絵へ注意を向ける親

乳児にとって
絵本の「絵」とは？

乳児の主体的な行動やサインの意味
➡ 同じ対象（絵）へ注意を向け応答する

絵本(絵)を「身体(手・口等)で探索する」から「読みあう」へ

4～9カ月頃

絵を手で探索する

(つかもうとする、たたく、こする等)



絵をつまもうとする

どこをみているのかわからない時、指さしてくれると何に**興味**をもっているのかわかります！

絵(平面・2次元) ⇔ 現実の物(立体・3次元)

9カ月～1歳半頃

絵を手で探索すること減少

絵を指さす、話すことが増加

「絵とは何か」を理解したサイン!
(絵への指さし)

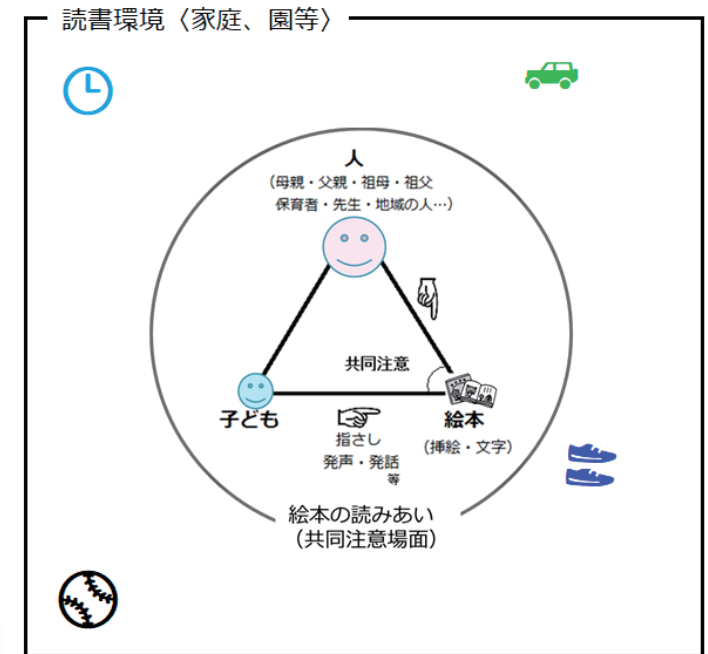
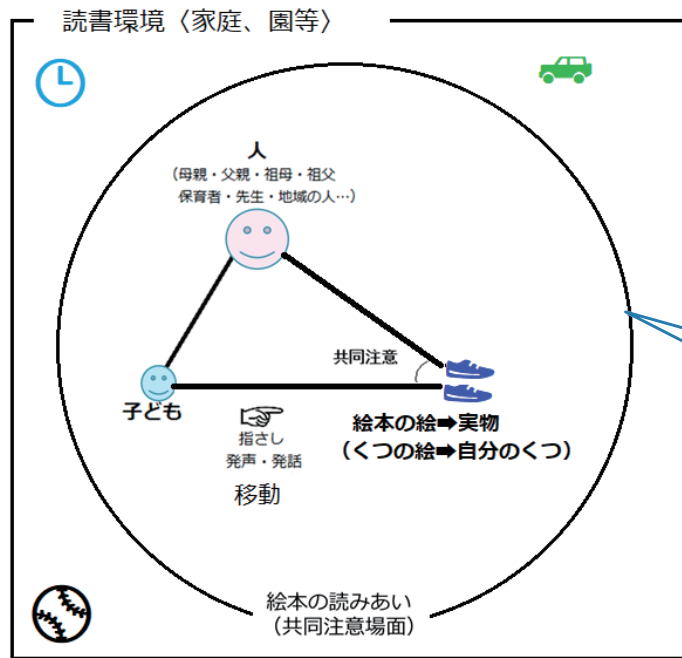


絵本(絵)を指さす

(DeLoache, et al., 1998; 2009, Pierroutsakos & DeLoache, 2003)

絵本の「絵」から広がる世界:「現実世界」から「想像世界」へ

乳幼児の発達に応じた読書環境構成(菅井・秋田・横山・野澤、2009;菅井、2017等)

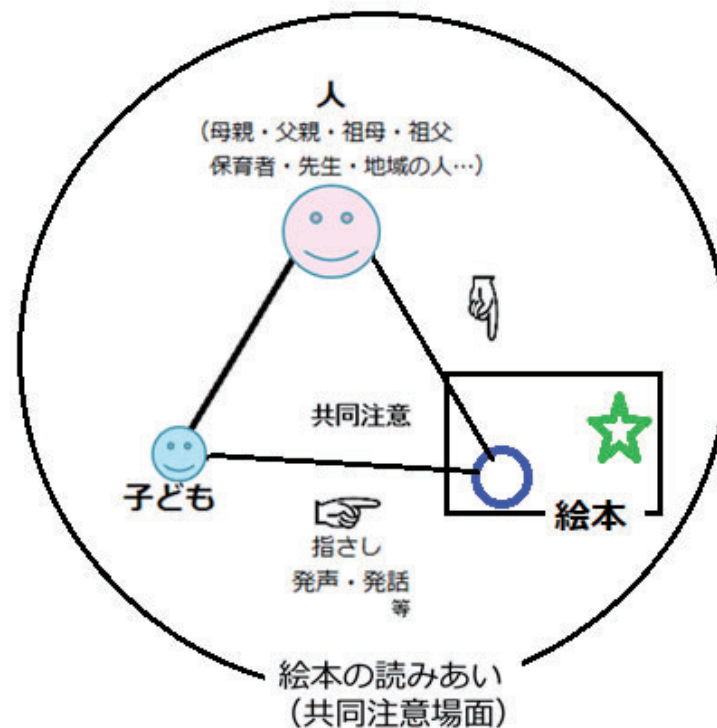
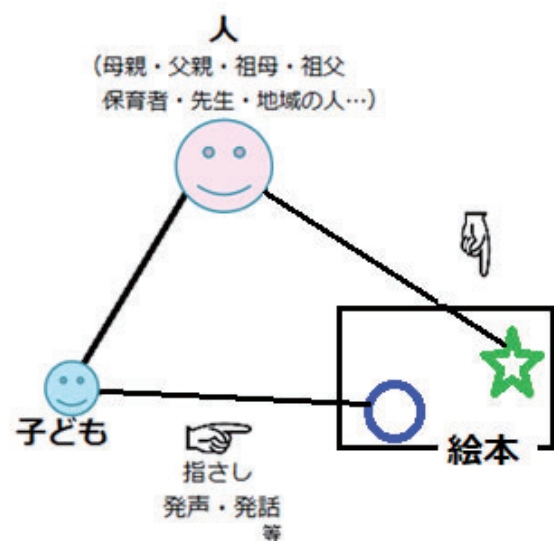


絵本世界と現実世界の行き来
(絵本の「絵」⇒「実物」へ身体で関わる)

豊かな生活経験⇒絵本体験へ

絵本世界から想像世界へ
(絵本のページ上の「絵」「文字」へ関わる)

絵本の「絵」を読みあう共同活動



「絵」を読みあう

- ➡ 繰り返し読む：多様な絵へ注意を調整しあい楽しむ(人、時、場)
- ➡ 絵の表現技法(遠近法、異時同図、漫符等)や、表現ルールを含む絵の文法に触れ、絵の読み方にも気づく

(菅井、2012等)

共同活動としての「ページめくり」への参加

絵本を「指先でめくる」から「ページをめくり読みあう」へ（菅井、2019）

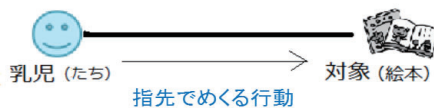


指でつかみ、つまみ、めくる…

1歳頃から

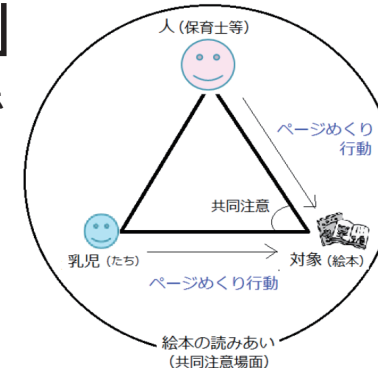
「指先でめくる行動」

乳児が絵本との関係において紙を指先でめくる行動



「ページめくり行動」

読みあう人との関係の中で絵本への共同活動としてページをめくり読みあう行動



乳幼児と絵本を読みあう：乳幼児体験・乳幼児の姿から考える

乳幼児体験から(乳幼児の目線、視野)

例)乳幼児にとって、保育士の膝の上
に座って絵本を読みあうとは...

親や保育者
の関わり
援助



(菅井、2021)

音

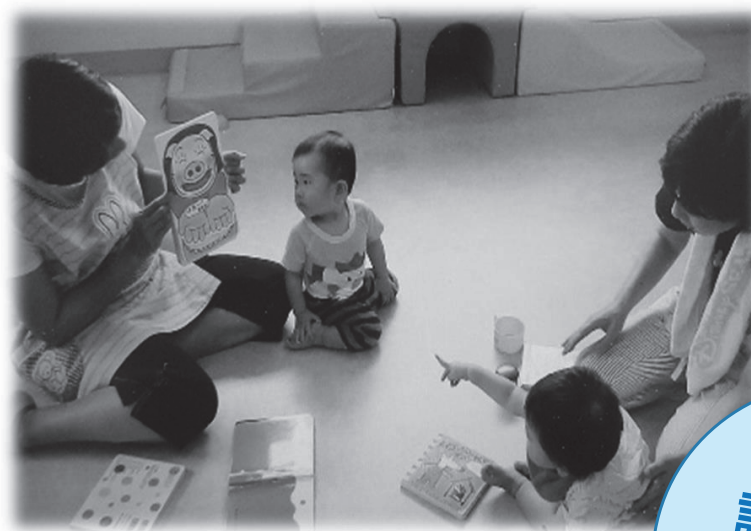
風

におい

多様な場での乳幼児の姿から

例)乳幼児にとって、絵本を読みあう
「場」や「人」が異なると...

場



光

人

読書環境
構成

(菅井、2019)

2.公立図書館・図書室における 乳幼児と保護者のための読書環境構成

* Cedep × ポプラ社 共同研究の知見より *

「全国保育・幼児教育施設の絵本・本環境の実態調査」(2019)

蔵書数、年間予算が少ない施設

➡地域の近隣施設を活用する頻度が高い(主に**図書館**)

(高橋・野澤・菅井・佐久間・仲本・秋田、2021)

「新型コロナウイルス感染症流行に伴う乳幼児の生育環境の変化に関する緊急調査」
(2020) 新しく手にする絵本・本の冊数が普段より減少したと回答した家庭

➡理由:「**図書館**が利用できなかった」



図書館: 乳幼児の絵本・本環境を支える役割

「子どもの読書環境と公立図書館の役割に関する調査」(2020)

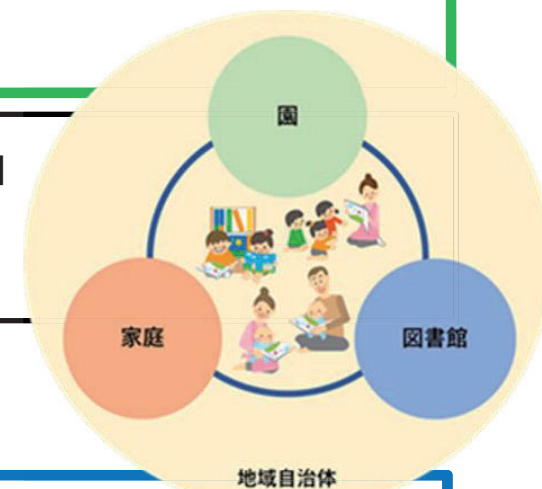
全国の公立図書館・図書室を対象とした実態調査実施(1304/3299館・室)

➡子どものための区画・閲覧スペースの写真および写真の説明文 204館

(「乳幼児と保護者スペース」) ➡**写真分析**

園

図書館



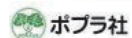
写真でみる

公立図書館・図書室の 乳幼児・保護者のための スペース事例集

子どもたちの豊かな絵本・本環境をめざして



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター



株式会社ポブラ社

乳幼児の絵本・本環境を支える「図書館」

乳幼児・保護者のためのスペース

「絵本・本スペース」

「授乳室・授乳スペース」

「オムツ交換スペース」

「調乳・給湯スペース」

「乳幼児・保護者のためのスペース」の
読書環境構成



「子どもの読書環境構成のデザイン原理」
(秋田、2020)を参考に分類し分析

子どもの読書環境構成のデザイン原理(秋田、2020)

「乳幼児には時間空間の環境を通しての経験が大切である」

子どもの読書環境構成のデザイン原理

Design principles for processes 1冊の絵本・本の中で	1.共同注視(共同注意) 2.聴きあう 3.夢中
Design principles across time 繰り返しの経験の中で	1.忘れられない経験 2.良質な作品 との出会い 3.主体的選択
Design principles beyond centers and libraries 園・図書館の空間を越えて	1.読む・表す・関わるなど真正な絵 本・本をめぐる活動への参加 2.柔 軟な流通・交流 3.人がつながりあう
Design principles for participation 皆で活動へ参画	1.笑顔の輪が広がり力が生まれる 2.共同主体性 3.居心地

子どもの読書環境構成の3つのポイント

乳幼児と保護者が過ごす居心地のよい「場」としての図書館

図書館内で乳幼児と保護者が過ごす場では、乳幼児の育ちをふまえた配慮や工夫がどのようになされているのでしょうか

ダイバーシティ
&
インクルージョン
(乳幼児と保護者の
視点に応じた
配慮や工夫)

おもちゃ(車・形のおもちゃ、布製本、ぬいぐるみ)の貸し出しを行っている



岐阜県高山市図書館「読書館」
「館内は居たまりのへや、読書室、3歳児までを対象とした読書、乳幼児向けの読書はほか、つみかさやパズル・パウンサーを設け、読書の場を保護者や親子へ提供を設けている。」

子どものための楽しい空間、親の抱っこや膝の間に座ることができる



島根県西ノ島町コミュニティ図書館
「館内専用の日当たりのよい場所を、敷き可能なカーペットスペースの間に設けている。抱っこや膝の間に座りながら読書、作り付けの低い本棚などを使い、椅子を4つ、少し大きめのこたつなどのおもちゃも用意している。主に乳幼児向けスペースとして利用。」

パウンサー・モバイル、おもちゃ・形・イス(アロクック)もちはこびできる



北海道新ひだか町図書館

ダイバーシティ
&
インクルージョン
の視点から
子どもと保護者
が安心して
過ごせる工夫



広島県安芸太田町立図書館

「館本の扉になっているので、利用者の年齢制限はないが、入口口側から乳幼児スペースとして区別されている。(アロクック、読書コーナー)」



ダイバーシティ
&
インクルージョン
の視点から
子どもと保護者
が安心して
過ごせる工夫



北海道札幌市立図書館

「おむつ替えコーナーも併設しています。」



千葉県浦安市立中央図書館

「児童室に設置され、館内には授乳スペースも設けられている。清潔な環境がある。」



北海道釧路市立図書館

「おむつ交換台・おむつ替えマットの併設」



青森県立図書館

「乳児室(おむつ替えのコーナー)」

乳幼児の育ちをふまえた机やイス、パウンサー、モバイル、おもちゃ、授乳室、オムツ交換台、ベビーベッド、お昼寝マット、手洗い場など保護者と一緒に過ごしやすい工夫やくつろげる環境への配慮がなされていることがわかります。また、おもちゃなども準備されている図書館もみられます。おもちゃで遊び楽しむだけでなく、絵本(絵の形や色)と精本(形や色)や、絵本(車の絵)とおもちゃ(車)等を「おんなじ(同じ!)」と絵本の絵と物に対応づけたり、遊びの中で絵本(絵)とは何かを学び大人との絵本をめぐるやりとりを楽しむことにつながるでしょう。とくに空気交換、換気、温度調節、安全性、衛生管理等への配慮が必要な場であるといえるでしょう。

アクセシビリティ
Accessibility
利用可能性

エージェンシー
Agency
主体性
&
Co-エージェンシー
Co-Agency
共同主体性

ダイバーシティ
Diversity
多様性
&
インクルージョン
Inclusion
包摂性

Design principles for engagement

皆で活動へ参画

1. 空間の幅が広がりが生まれる 2. 共同主体性 (Co-creation) 3. 居心地 (ウェルビーイング)

図書館は、1人で、親子・家族・仲間と一緒に、だれでもだれとでも来館し利用できる場所です。さまざまな図書館の乳幼児・保護者スペースの写真から、利用者の視点にたった配慮や工夫をみてみましょう。

図書館の「サイン」：

伝えたい内容が伝わり主体的な参加をみちびくサイン

図書館には、図書館特有の「蔵書関連サイン（配架案内、書架列番号、分類・著者名、デジタル情報案内など）」があります。その他に、どのようなサインがあるのでしょうか。



熊本県若菜市中央図書館

視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚の
サイン
「理解しやすい・入りやすい・使いやすい・移動しやすい…」

ピクトグラム (絵文字)

文字を使わず情報や注意を示すために表示される視覚的記号
図解や言語等を問わず情報を伝えることができる



「国際シンボルマーク」
障害者が利用できる建物や場所であることを示す世界共通のピクトグラム



「授乳室マーク」

ユーザーを
高め
エンジェシーを
ひきだす工夫
「乳幼児の主体的な
行動と保護者の
応答的な関わり」



北九州市立戸畑図書館



東京都練馬区立大塚図書館

ダイバーシティ
&
インクルージョン
「多様な人の視点に立つ
配慮や工夫」



「はなれてえらばう はなれてまもう」を
伝えるサイン (文字・絵)

感染予防対策：フォジカルスペースの確保を
伝える



「くつをぬいで履いてお座スペースに
入る」を伝えるサイン (絵)

理解しやすい、スペースへ入りやすい



「ほんは、このしかくのなかでよんでね」を
伝えるサイン (文字・絵)

感染予防対策：フォジカルスペースの確保を
伝える

乳幼児・保護者、はじめて利用する人などすべての利用者が、主体的に行動し参加しあえる視認性のよいサインを用いた配慮や工夫がみられます。世界共通の表記や、図書館オリジナルサイン、常設サインや期間限定サインなどもあります。利用者の多様性への配慮 (色の見え方など) をふまえ、大きさや色、形等を工夫することが理解しやすさ、入りやすさ、使いやすい、移動しやすさ等につながります。

Design principles for participation

皆で活動へ参画

- 図書館の「サイン」：伝えたい内容が伝わり主体的な参加をみちびくサイン
- だれもが参加できる居心地のよい「場」としての図書館
- 乳幼児と保護者が過ごす居心地のよい「場」としての図書館

乳幼児・保護者
スペースの
アクセシビリティ

(理解しやすい・
入りやすい・
使いやすい・
移動しやすい…)

エンジェシーを
高め
Co-エンジェシーを
ひきだす工夫

(乳幼児の主体的な
行動と保護者の
応答的な関わり…)

ダイバーシティ
&
インクルージョン

(多様な人の視点に
立つ配慮や工夫…
乳幼児・保護者、妊
婦、ベビーカーを押
す人、障害児・者、
外国籍の人…)

Design principles for processes
1冊の絵本・本の中で

1. 共同注視(共同注意) 2. 読みあう 3. 夢中

「貸出型から滞在型、課題解決型へ」と時代や社会のニーズが変化し、「場」としての図書館のあり方が変わってきています。「多様な絵本・本と出会い1冊を選び・遊び合う場」、「絵本・本を読む・読みあう・聴きあう場」「絵本・本を読み終える場」の一連の流れをめぐる場や、絵本・本をこえた「場の広がり」について順にみてみましょう。① 中央図書館・川崎区・新横浜(2020)、国書院新横浜、日本図書館協会

多様な絵本・本と出会い1冊を選ぶ・遊びあう場

多様な絵本・本に囲まれた環境の中で、絵本・本を選び・遊び合うことに夢中になれる場の工夫をみてみましょう。

読みたい絵本・本がすぐ見つかる
「見やすい、探しやすい、遊びやすい、手に取りやすい」



徳島県牟婁町立図書館
「絵本や赤ちゃん絵本、しかけ絵本が、子どもの視線で取られるように配置。」



大阪府熊取町立熊取図書館
「赤ちゃん向けの絵本や親子向けの絵本、わらべうたの本などを設置しています。絵本見本の展示架の高さは、乳幼児がつかまり立ちした時に届く高さになっています。畳や大きめのソファを設置しているので、乳児連れのお客さまも安心して利用できます。」



四季やイベントに合わせて変化するディスプレイ
自ら絵本を選べる書架、わくわくする空間
東京都荒川区ゆいの森あらかわ(中央図書館えほん館)

ダイバーシティ & インクルージョン
(多様な人の視点に立つ配慮や工夫...)



秋田県青角市立花輪図書館 テーマ展示
「椅子をラウンドに配置をして、自由に本を手にとれる空間を確保しています。」



福岡県市立相模大野図書館
「4歳子どもの本のフロアの奥にあります。目を思いで到達する場所です。背の高い絵本棚や、移動式の書架を設置し、乳幼児が絵本を手にとりやすい環境になっています。また、この場所で読書指導のおはなし会も開催しています。」

Design principles for processes
1冊の絵本・本の中で

- 多様な絵本と出会い1冊の絵本を選ぶ・遊びあう場
- 絵本を読む・読みあう・聴きあう場
- 絵本を読み終える場: 絵本をきまったところへ置く
- 夢中になれる場の広がり: ゆったり過ごす、課題を解決する場...

乳幼児・保護者
スペースの
アクセシビリティ

(見やすい、
探しやすい
遊びやすい
手に取りやすい)

エージェンシーを
高め
コ・エージェンシーを
ひきだす工夫

(1冊の絵本へ注意
を向けあい遊びあう
絵本の展示: 面展示
(フェイスアウト)
棚・書架の高さ: 身長、
運動発達...工夫)

ダイバーシティ
&
インクルージョン

(多様な人の視点に
立つ配慮や工夫...)

Design principles across time

繰り返しの経験の中で

1. 忘れられない経験 2. 良質な作品との出会い 3. 主体的選択

図書館では、自分が読みたい絵本・本（作品）を何冊も実際に手に取りページをめくりながら選択することができます。しかしそれだけではなく、興味深いテーマのもとに選書・展示された絵本・本との出会いや、繰り返し出会う工夫もなされています。

選書された絵本・本と出会う（期間限定）



北海道新ひだか町図書館
「児童展示コーナー（毎月入れ替え）」



岡山県新見市立中央図書館
4月のお誕生月作家の絵本・本



山梨県立図書館
「児童書コーナーの書架の横には「読る書架」があり、児童スペースにもなっている。定期的に横ごとテーマを設けて資料を展示。」

「出会いやすい、おもしろやすい」

繰り返し出会う（おはなし会で読んだ絵本・本、読み聞かせにおすすめの絵本・本）



ダイバーシティ
＆
インクルージョン
（多様な人の視点に立つ
配慮や工夫…）

横浜市山内図書館「オープンスペース」

「おはなし会で
よんだ絵本と
かみしばいと
を繋ぐ」



千葉県銚子市児童図書館

「読み聞かせにおすすめの本のコーナー（物仕分け）」「よみかぜにおすすめの本を置いています。有償団体が選書会等でも利用しています。」
(<https://www.library.city.akiko.chiba.jp/theme/yomikaze.htm>)

「読書会のおはなし会で好評だった
本を中心に揃えています（読者の知
識層に合わせています）。
多くの読者に対応できるよう、読者の
関心本が中心です。
ここには同じ本が分冊づつついてあり
ます。期内ラベルの付いていない本
が貸出できます。貸出期がない本や
見つからない場合は、お貸出しに難儀
にお尋ねください。分冊に在庫がない
場合は、他市の図書館よりお取り寄
せ致します。」

地域の人・文化・歴史に出会う



青森県立図書館
河田とさきさんの作品展示



北海道中標津町図書館「おはなしコーナー」
壁面には、現在展覧となっている種別別の品類別を物
で作成したものが飾られています。



「多様な読者・本の選択、
繰り返し出会う工夫、
地域の人・文化・歴史に出
会い関わりあう工夫」

愛知県安城市
図書館情報科
「なんきさんのへり」
図書館に中央の
ある作家
新美南吉さんに
まつわる展示

図書館では、多様な絵本・本の中から思いがけない絵本・本（作品）との出会いや、忘れられない1冊の絵本・本（作品）との出会いがあります。そして地域の図書館では、乳幼児・保護者スペースで親子や祖父母、地域の人と関わり語り合いながら、その地域特有の絵本・本・物を通して、地域の人・文化・歴史にふれあうことができる環境の工夫もなされているようです。

Design principles across time 繰り返しの経験の中で

- 選書された絵本と出会う（期間限定）
- 繰り返し出会う（おはなし会で読んだ絵本、読み聞かせにおすすめの絵本）
- 地域の人・文化・歴史に出会う

乳幼児・保護者
スペースの
アクセシビリティ

（出会いやすい
過ごしやすい…）

エージェンシーを
高め
コ・エージェンシーを
ひきだす工夫

（多様な絵本・本の選択、
繰り返し出会う工夫、
地域の人・文化・歴史に
出会い関わりあう工夫
…）

ダイバーシティ
＆
インクルージョン

（多様な人の視点に
立つ配慮や工夫…）

Design principles beyond centers and libraries

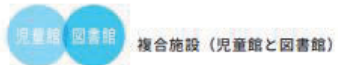
園・図書館の空間を越えて

「読み・書き・聞かぬなど真正な絵本・本をめぐる活動への参加」を柔軟な流通・交流・人がつながりあう

すべての子どもの絵本・本環境を変える場（家庭、園、図書館など）の空間をこえた柔軟な流通や交流、人とのつながりについて、乳幼児・保護者スペースの写真からみてみましょう。



「くつを脱いであがるスペース。読書の空間は乳幼児対象。読み聞かせをしている姿をみる事ができる。土、日は文庫が読み聞かせをしていることもある。」

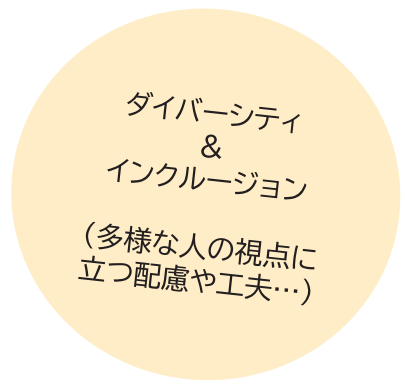
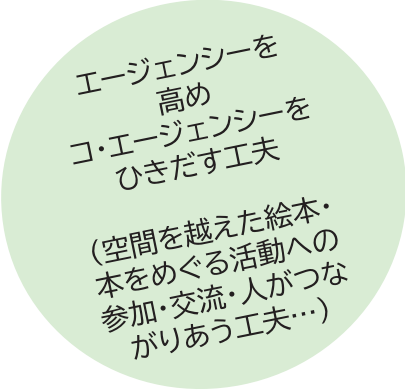
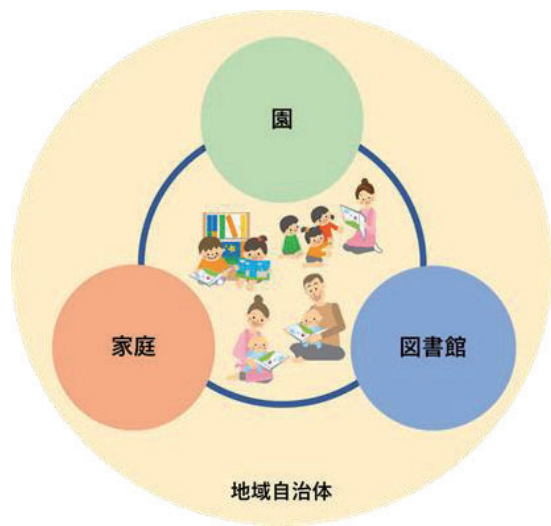


家庭、園、図書館などの空間をこえ、絵本・本を通して多様な人がつながっていることがわかります。また、家庭や園の空間で読み手である保護者や保育者も図書館では子どもとともに聴き手として参加し絵本・本を味わい楽しむなど、絵本・本の関わり方や参加の仕方がこれまでと変わり、新たな絵本・本との出会いや時間になっているようです。これからの図書館は、子育て支援施設や老人福祉施設、園や学校、病院などの施設と複合化し、図書館の枠をこえたさまざまな機能をこなす融合化が進むといわれています。^{2) 3)}

2) 高橋洋・野原伸子・宮内洋子・佐久間陽子・中津美奈・和田佳代 編(2021)『子育て・幼児教育現場における絵本・本の活用と子どもの読書活動の推進と地域連携との関わり』に書評して、『読書の文化』、2021.12-13
3) 森一史子(2018)。これからの図書館：まちとひとが豊かになる17。平凡社。

Design principles beyond centers and libraries

園・図書館の空間を越えて



さいごに

「デジタル時代の子どもと絵本・本シリーズ」

第2回 乳幼児の絵本体験を問う:乳幼児はどのように絵本を体験しているか?



デジタルネイティブ
(スマホネイティブ)

指でタッチ、2本の指でピンチアウト...

乳児期からの絵本をめぐる共同活動の発達と読書環境構成
—共同研究の知見をふまえて—

2000年(過去) ➡ 2021年(現在) ➡ ...年(未来)

子どもの育ち・子どもをとりまく環境と「絵本」
「絵本」をめぐる共同活動の発達、「絵本」・本
読書環境構成

書店、おそばやさんの出前

すべての子どもたちの多様な場での豊かな絵本体験・環境をめざして...

研究にご協力下さいました保護者の皆様、保育・幼児教育施設の皆様、公立図書館・図書室の関係者の皆様、子どもたちに心より御礼申し上げます。また、写真の掲載を許可下さいました図書館・図書室、園、ご家庭の方々にも深く御礼申し上げます。

Cedepと株式会社ポプラ社の共同研究「子どもの読書環境と公立図書館の役割に関する調査」2020

監修・実施 秋田喜代美(東京大学大学院、現:学習院大学) 野澤祥子(同附属 発達保育実践政策学センター)

高橋翠(同附属 発達保育実践政策学センター) 菅井洋子(川村学園女子大学)

松田恭子(株式会社ポプラ社・花立 健(株式会社ポプラ社)・松本 麻依子(株式会社ポプラ社)

齋木小太郎(株式会社ポプラ社)・上野 萌(株式会社ポプラ社)・池田紀子(株式会社ポプラ社)

横田 亮介(株式会社ポプラ社)

実施補助・協力 出水雅子／松浦和代／宮澤那緒／向出歩穂／藤井千尋／松枝真理子／松枝華子／藤井達也／

高橋葉子／内田麻里奈